

～継続のなかにも、新たなチャレンジを求めて～
西野 雅詞さん
(久万高原町(旧柳谷村))

三世代続く黒毛和種一貫経営農家 1993年生まれ



☆経営概況☆

祖父、父と続けてきた黒毛和種の繁殖肥育一貫経営を2015年に受け継ぎ、現在は繁殖牛21頭、肥育・育成牛30頭を飼養しています。また、荒地になっていた放牧地1haを3年かけて復活させ、放牧にも取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■自分のDNAに正直に！

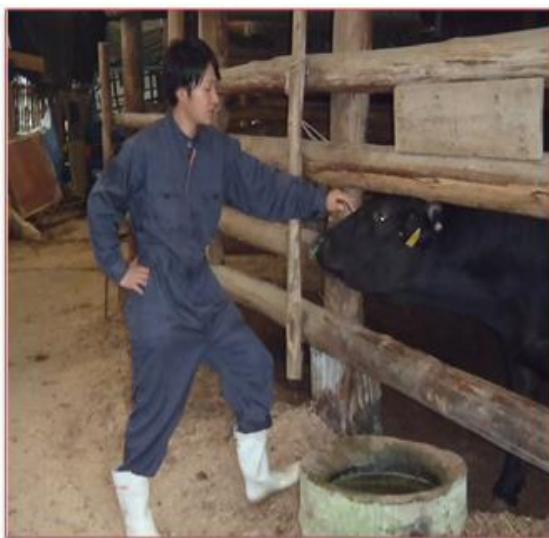
当時、別の仕事に就いていましたが、父親から「後を継いでみないか」の声掛けに、迷わず決心した自分の気持ちに驚きました。飼料価格の高騰など決して楽ではないと思いますが、自分の気持ちに正直に行動することにしました。

■家族労働力を活かして作業分担を見直し、より良い環境づくりを！

まだまだ元気な両親と妻の協力もあり、労働力は充実しています。このメリットを活かして、作業分担を見直し細分化することで、床替えや牛のブラッシングの回数を増やすなど、常に良い環境で牛も人も過ごせる農場づくりを心掛けています。

■自分オリジナルを！

まだまだ父親に教わる部分も多いですが、自分が考えたこと・やりたいことにチャレンジできる時期でもあると考えています。父親からアドバイスをもらいながら継承した技術に、自分なりの工夫を加えた自分オリジナルを目指したいと思っています。

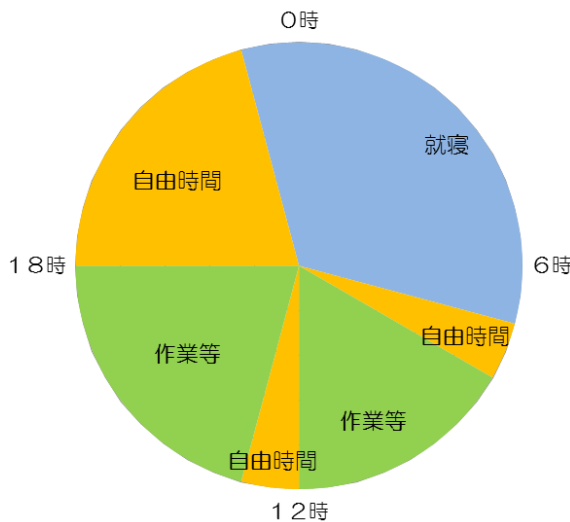


個体管理を大切に



給餌作業

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

主な作業は、餌やり、除糞、出荷、人工授精等の飼養管理ですが、季節によって飼料作物の作付けや収穫があります。

それ以上に大切な作業は、**毎日の個体管理です**。健康状態や発情管理は、直ちに経営に跳ね返ってくるので本当に気を使います。また、出荷や分娩前は事故が起こることが多いので、体調の変化に特に注意しています。

基本的には定休はありませんが、自分で作業を調整したり、個体管理を含めた作業を両親にお願いできるので、空いた時間を作りやすい環境です。

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】						
生きものを飼育しているため通常毎日作業がある。休みは家族と分担している。						
← 飼養管理作業等 →						



復活した放牧場で家族とピクニックを楽しんだり、休みが取れるときは、先輩や友人たちと趣味の釣りを楽しんでいます。

☆これからの夢や目指すもの☆

就農してから、全国から肥育牛が集まる神戸市場への出荷にチャレンジしていますが、**セリで上物に格付けされると、本当に大きな達成感が湧いてきます**。

この達成感が、種牛の血統や飼料の勉強、多くの人と交流して知識や技術を吸収したいと思う原動力です。この原動力をもっともっと大きくして、一日でも早く達成できるようにしたいです。

☆メッセージ☆

一般的に畜産のイメージはよくないですが、代々受け入れてもらった地域に少しでも恩返しができると思っています。**過疎化が進む地域の後継者として、若い力として、まずは明るく楽しく牛を飼いたいと思います**。